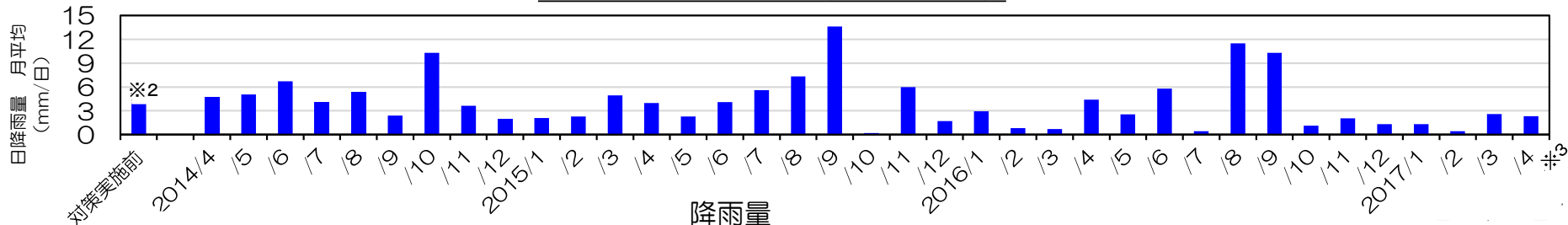
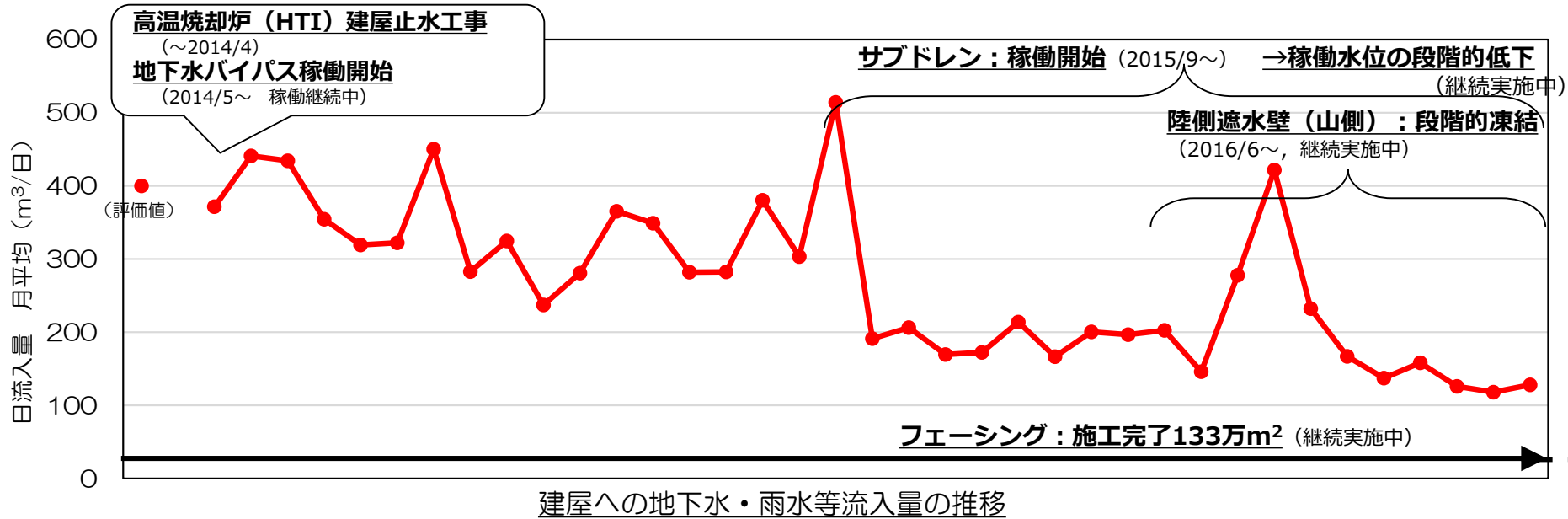


【参考】建屋流入量の低減状況

- 建屋流入量（以下「建屋への地下水・雨水等流入量」という）は、各低減対策（地下水バイパス・フェーシング・サブドレン・陸側遮水壁）の着実な実施により、対策実施前の400m³/日程度から、至近の平均では120~130m³/日程度※1まで低減しており、前回の中長期ロードマップ改訂時に目標としていた水準（100m³/日未満）に概ね到達している。
- 今後、建屋内外水位の更なる段階的な低下や陸側遮水壁の閉合の進展等により汚染水の発生抑制を図り、建屋滞留水処理を確実に進めていく。



※1: 集中RW建屋の貯蔵量算出に用いる水位に応じた断面積による不確かさを含む
 ※2: 【参考】福島第一の年間平均降雨量
 ※3: 4/1~27